

「技術士（CPD 認定）」について

2022 年 11 月 30 日
一般社団法人日本地質学会
地質技術者教育委員会

技術者の会員の皆様は、継続研鑽（CPD）として、いろいろな機会を利用して学習されていると思います。そこで、今回は、2021 年度に始まった「技術士（CPD 認定）」という制度について説明します。

なお、この説明資料は小俣雅志会員から寄せられた情報をもとに当委員会が編集したものです。

●「技術士（CPD 認定）」制度について

日本技術士会によれば、技術士の資質向上に資する CPD 活動の実績を公的に証明して技術士の社会的な信用度を高め、かつ資格の活用を促進するため、長期間連続して一定以上の CPD 実績がある技術士を「技術士（CPD 認定）」として認定することになっています。認定されれば「技術士（CPD 認定）」の認定証が発行され、本人の希望により技術士の氏名等が日本技術士会のホームページに掲載されます。

現状では「技術士（CPD 認定）」の具体的な活用方法、換言すれば業務上の実質的なメリットについては明らかになっていませんが、日本技術士会では「今後は、公共調達に関係する省庁や経済団体等に活用を働きかけていく予定」であるとしています。

したがって、今後「技術士（CPD 認定）」の活用範囲は広がり、公共調達の資格要件として利用されることも考えられますので、技術者の会員の皆様は「技術士（CPD 認定）」の申請を是非ご検討ください。

●「技術士（CPD 認定）」の申請について

「技術士（CPD 認定）」の申請には、申請前の過去 5 年度間において、以下の CPD 活動実績の条件を全て満たすことが必要です。

- ① 合計 250CPD 時間の活動実績
- ② そのうち 5CPD 時間以上の技術者倫理の活動実績
- ③ 各年度が少なくとも 20CPD 時間の活動実績

ただし、以下の経過措置がなされます。

・2024 年 3 月末までの申請については直近の過去 2 年度間連続して推奨 CPD 時間（50CPD 時間以上）を達成している実績があること。

・2021 年度までの実績登録においては、技術者倫理に関する実績を要件としない。

すなわち、2022 年度に申請する場合は、過去 5 年度分（2017～2021 年度）の CPD 活動実績が合計 250CPD 時間以上かつ各年度 20CPD 時間以上が認定要件となりますが、経過措置として過去 2 年度（2020～2021 年度）の CPD 活動実績が各年度 50CPD 時間以上でも申請できます。なお、いずれの場合でも技術者倫理に関する実績は必要とされません。

一方、2023 年度に申請を行う場合には、過去 5 年度分（2018～2022 年度）の CPD 活動実績が合計 250CPD 時間以上かつ各年度 20CPD 時間以上と技術者倫理 5CPD 時間以上が認定要件となりますが、経過措置として過去 2 年度（2021～2022 年度）の CPD 活動実績が各年度 50CPD 時間以上で、2022 年

度の技術者倫理 1CPD 時間以上があれば申請できます。

以上のように、2023 年度以降に「**技術士 (CPD 認定)**」を申請あるいは更新する場合には、申請年度以前の技術者倫理に関する CPD 活動実績が必要となることに注意してください。

●技術者倫理に関する CPD 時間の取得について

技術者倫理に関する講習や研修は様々な団体において多く開催されておらず、たとえ年間 1 CPD 時間であってもそれを取得するのは大変だと思われます。日本地質学会ではそのような講習や研修を今後検討・企画していく予定ですが、直ちに実践はできません。

そこで、例えば以下の方法で学習し、技術者倫理に関する CPD 時間を取得することをお勧めします。

- ・本技術士会が提供しようとしている技術者倫理に関する e ラーニングを使って自己学習する。
- ・日本技術士会が刊行する「月刊技術士」に掲載されている技術者倫理に関する記事により自己学習をする。
- ・技術者倫理関係の書籍を読んで自己学習する。
- ・所属する会社などが行う技術者倫理に関わる社内研修を受講する。

●参考資料

- ・文部科学省 (2021) : 技術士の資質向上に関する継続研さん活動の実績の管理及び活用について (通知),
https://www.mext.go.jp/content/210507-mxt_kiban01-000014768-1.pdf
- ・日本技術士会 : 技術士 CPD の概要,
https://www.engineer.or.jp/c_topics/008/008402.html
- ・日本技術士会 : 技術士 CPD 活動実績の管理及び活用制度の開始,
https://www.engineer.or.jp/c_topics/008/008032.html
- ・日本技術士会 : 技術士 (CPD 認定) の認定要件,
https://www.engineer.or.jp/c_topics/008/008821.html
- ・日本技術士会 : 他学協会の CPD 登録システムを利用している方の手続方法,
https://www.engineer.or.jp/c_topics/008/008034.html
- ・日本技術士会 (2022) : 技術士 CPD ガイドブック Q&A Ver2.1,
https://www.engineer.or.jp/c_topics/008/attached/attach_8032_4.pdf
- ・今村 遼平 (2008) : 技術と倫理, 電気書院, 277p
- ・「君ならどうする?」- 建設技術者のための倫理問題事例集 - 編集委員会 (2003) : 「君ならどうする?」
- 建設技術者のための倫理問題事例集 -, 地盤工学会, 62p
- ・小出 泰士 (2010) : JABEE 対応 技術者倫理入門, 丸善, 146p
- ・北原 義典 (2015) : 初めての技術者倫理 未来を担う技術者・研究者のために, 講談社, 167p